



2023年度 ゴールデンウィーク期間ご利用実績

～国内線の総旅客数が2018年度比101.5%まで回復し、コロナ前を上回りました～

2023年度ゴールデンウィーク期間(2023年4月29日～5月7日)における、JALグループ航空会社便のご利用実績を取りまとめましたので、ご報告します。

国内線の総旅客数は、2018年度比で101.5%まで回復し、新型コロナウイルス感染症拡大前を上回りました。方面別では、全方面で前年を上回る旅客数となり、特に関西方面では、前年比で120%を超えました。日別のピークは、下りが5月3日、上りは5月6日と7日となりました。

国際線は、日本を含めた各国の水際規制緩和など、感染症危険度レベルの引き下げにより、新型コロナウイルス感染症拡大前の水準には達していないものの、総旅客数は約15万人、前年比で約2.3倍と大きく伸長し、多くのお客さまにご利用いただきました。方面別では、全方面で前年の総旅客数を大きく上回り、バンコク線やマニラ線、ソウル線を中心に高い搭乗率となりました。また、ホノルル線においても移動のピーク日に満席便が出るなど、着実に需要は回復しております。日別のピークは、日本出発は4月29日、日本到着は5月5日と6日となりました。

【JALグループご利用実績】

※ 前年比は2022年4月29日～5月7日、FY18比は2018年4月29日～5月7日の実績と比較

※ 2019年のゴールデンウィークは10連休であったため、2018年の提供座席数、総旅客数、搭乗率を記載しています

1. 国内線 (JAL、J-AIR、JAC、HAC、JTA、RAC各社合計)

提供座席数		総旅客数		搭乗率	
	前年比/ FY18比		前年比/ FY18比		前年差/ FY18差
1,189,202席 (2022年度 1,219,205席) (2018年度 1,205,063席)	97.5%/ 98.7%	929,808人 (2022年度 832,644人) (2018年度 915,850人)	111.7%/ 101.5%	78.2% (2022年度 68.3%) (2018年度 76.0%)	+9.9pt/ +2.2pt

2. 国際線 (JAL)

提供座席数		総旅客数		搭乗率	
	前年比/ FY18比		前年比/ FY18比		前年差/ FY18差
209,852席 (2022年度 104,864席) (2018年度 269,694席)	200.1%/ 77.8%	151,735人 (2022年度 66,035人) (2018年度 226,617人)	229.8%/ 67.0%	72.3% (2022年度 63.0%) (2018年度 84.0%)	+9.3pt/ ▲11.7pt

詳細につきましては、添付別紙をご覧ください。

以上